

思いっきり楽しむ
じぶん時間。



休暇制度を活用した旅行で 日頃の疲れをリフレッシュ

休日は、リフレッシュして翌週から新しい気持ちで仕事に臨むために大切な時間。趣味を楽しんだり、友人とごはんに出かけたりして、「じぶん時間」を過ごしています。一番の楽しみは旅行に行くこと。週末に近くの温泉地を訪れることもあれば、長めの休暇を取得して遠くまで出かけることもあります。その土地ならではの景色や雰囲気、人との出会いがあり、日常から離れた時間を楽しみながら、いつも刺激を受けて帰ってきます。また、プライベートでの経験が業務に生かされていると感じる場面も多々あります。

入庁するまでは、「社会人になると休みが取れないのでは?」と思っていましたが、休暇制度がしっかりしていることはもちろん、職場全体として休暇を取得しやすい雰囲気があり、仕事とプライベートどちらも充実させられるのが魅力だと感じています。



プライベートも
充実しています!



文化観光局
観光交流部観光課
小沼 滯奈 さん
[仙台市出身]
平成27年度採用

子どもの成長を実感できる貴重な時間

私も妻も実家が遠かったため、長女が2歳半のとき、2人目の子どもを授かったタイミングですぐに育児休暇を取得しようと思い、上司に相談しました。忙しい部署だったため引き継ぎに不安を感じたこともありましたが、周りの同僚たちが温かく受け入れてくれ、とてもありがたかったです。

約1か月の休暇の中でよかったと感じたのは、上の子にも常に私か妻どちらかが一緒にいてあげられたこと。妻ひとりでは赤ちゃんにつきっきりになってしまったと思うので、さみしい思いをさせずに済みました。

復職してからも家事・育児は妻と協力して行っています。時間が足りないからこそ、計画的に仕事を進めよう意識するようになりました。育児休業期間は、私にとって子どもの成長を間近に感じられる貴重な時間でもあったので、男女の別なく多くの職員に積極的に活用してほしいなと思います。

子どもの
時間は
私にとって
とても
大切な時間

青葉区保健福祉センター
障害高齢課

半田 聖 さん
[秋田県秋田市出身]
平成31年度採用



仕事と家庭の両立支援制度取得

配偶者出産補助休暇

育児休業

育児参加のための休暇

育児時間



かけがえのない
家族時間。